

兵庫県
保険医協会

加古川 高砂支部 ニュース

No. 202

2009年3月15日

兵庫県保険医協会 加古川・高砂支部

（連絡先）神戸市中央区海岸通一丁目一三二

神戸フコク生命海岸通ビル五階
電話 〇七八―三九三―一八〇（代）

岡部桂一郎副支部長が会長に就任

加印社会保障推進協議会第9回総会に五十人が参加

加印社会保障推進協議会の第9回総会が2月21日、加古川市立勤労会館で開かれ、医療関係者や商工団体、各種住民組織の代表など50人が参加した。

役員改選では、橋本能直加古川・高砂支部長（加古川市）に代わり、岡部桂一郎副支部長（高砂市）が会長に就任。総会議事では「小泉構造改革のもと、相次ぐ医療・福祉制度の改悪で社会保障制度は根幹から崩されている。平和でまともな暮らしができ、未来に希望が持てる社会を構築するため地域から運動を起こそう」とする総会アピールを採択した。

総会記念講演では08年2月の



記念講演では国民健康保険の問題点について学んだ

第9回総会アピール

安心して住み続けられる社会作りを目指して、加印社会保障推進協議会は加古川、高砂、播磨、稲美の二市二町を対象として活動を続けてきました。この間、介護保険制度、国民健康保険制度、自立支援法、後期高齢者医療制度など、又行革による医療・福祉制度の改悪など、社会保障の制度は小泉構造改革による規制緩和、毎年2200億円の社会保障費削減などでズタズタにされました。私たちはささやかな力ながら毎年各自治体と話し合いを持ち、介護保険料、国民健康保険料の引き下げ、ゾーンパスの充実、医療改悪反対、後期高齢者医療制度廃止など議会への請願を提出したり、街頭宣伝、署名活動をしてきました。いま、日本は12、7%のGDP低下で、100年に1度の経済危機と言われています。子ども、障がい者、母子家庭、高齢者など弱者の貧困は毎日の新聞記事からも類推できます。首切りと同時に住居を失うという信じられないような実態が、昨年末から報道されてきました。さらに年度末に向けてこの動きは加速されると言われ、他人ごとではなくなっています。社会保障がかかっていないほど求められています。昨年末、「年越し派遣村」では厚生労働省の講堂を解放させるにいたりました。労働組合が見直され、団結して要求すれば成果を得られると言う経験を共有しはじめています。私たちが昨年は後期高齢者医療制度の廃止を目指して年金支給日ごとに6回、JR加古川駅前のATMの前で街頭宣伝と署名を行いました。昨年9月からは「加古川市の国民健康保険料の引き下げを求める会」に加入して、街頭宣伝、署名活動に参加し、切実な市民の生活不安、高い保険料に対する怒りの声を聞いています。住民要求が一番近いところにいる地域社保協として、もっともっとたくさんの方の参加で運動を大きくして、要求を勝ち取りましょう。本当に安心できる社会、平和でまともな暮らしができる、子どもや若者が未来に希望を持てる社会を作ります。奮闘しましょう。

2009年2月21日
第9回加印社会保障推進協議会総会

「社会保障の拡充を求める」アピールを採択

京都市長選候補者である中村和雄弁護士が「京都市長選における国民健康保険料引き下げの闘い」と題し講演。中村氏は、国民健康保険料の引き下げと保険証の取り上げ中止をマニフェストに掲げ闘った自身の市長選の経験も踏まえながら、京都市の国保料引き下げに至った経緯を詳しく解説。

この中で、応能割を重視した保険料率への改定や基金約9億円の取り崩し、さらに一般会計から約140億円の繰り入れなどで京都市の9

6%の世帯で国保料の引き下げが実現（所得250万円・2世帯モデルで6430円の引き下げ）したことを運動の成果であるとする一方、来年度予算では再び保険料の引き上げが盛り込まれるなど引き続き国保料の引き上げを許さない粘り強い運動が必要であるとした。最後に、「国保料の国庫負担削減をはじめとする国の医療・福祉、弱者切り捨て政策が続く中、国との対決がきわめて大事。地域から声をあげていこう」と提起、住民の要求の受け皿としての地域社保協の重要性を強調した。参加者からは「国保料の引き下げ運動を取り組んで行く上で、大変参考になった。加古川市でもぜひ実現したい」などの感想が出された。

* 共済部だより *

「保険医年金」ご加入の皆さまへー

『年金融資』をご活用ください

協会では、「保険医年金」ご加入の先生向けに『年金融資』を取り扱っています。急な資金ご入用の場合など「保険医年金」を解約することなく、最高1000万円まで(但し、「保険医年金」積立金残

高上限) 融資を受けることができます。

※適用利率：5年まで 2.475%

6~7年 2.575%

(据置期間2カ月、変動型)

手続きの概要

①まず、協会へお電話ください→②協会から融資申込書類をお送りします→③兵庫県医療信用組合にて制度説明を受けていただきます→④印鑑証明・収入印紙をご用意いただき、申込書類に必要事項ご記入のうえ、協会に持ち込み、または、郵送ください→⑤審査後、融資実行となります(毎週木曜日締切・翌週金曜日実行)

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

— 会員向け融資制度のご案内

運転資金の補充には 運転資金 500万円・5年返済	居住用住宅の購入には 住宅資金 1億円・35年返済	子弟の医学資金には 子弟教育資金 2,000万円・10年返済
---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------------

●上記利率は、すべてみなと銀行の場合です(2008年12月22日改訂)。その他の取扱金融機関は、但馬銀行、尼崎信用金庫、姫路信用金庫、日新信用金庫、淡路信用金庫、中兵庫信用金庫です。

●社保・国保の振込指定が必要です(片方指定の場合は0.2%上積み)。

●住宅資金は一部固定金利型も選択可能です。

●融資実行時に斡旋手数料を借入金より差引きます。

2009年度介護報酬改定研究会

4月1日から介護報酬が改定されます。今回実施される介護報酬改定は、介護労働者の劣悪な処遇改善ということで3回目の改定で初めて引き上げられることになりましたが、わずか3%ではすべての介護従事者の処遇改善には程遠く、逆に施設間の格差が広がるのが懸念されています。保険医協会・保団連では更なる介護報酬の引き上げや要介護認定基準の変更によって要介護度が低くなることのないように要求しています。

保団連発行『医療系介護報酬改定のポイント』をテキストに、居宅療養管理指導費、訪問看護費、訪問リハビリテーション費、通所リハビリテーション費、介護療養施設サービス費などの医療系サービスを中心に解説します。ぜひご参加ください。

【神戸会場】

3月25日(水) 午後2時~4時

兵庫県農業会館 11階大ホール

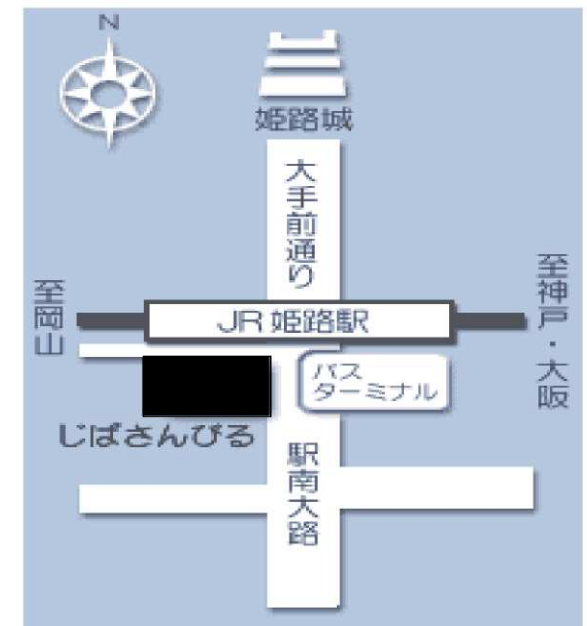
神戸市中央区海岸通1 tel/078-333-5951

【姫路会場】

3月28日(土) 午後3時~5時

姫路じばさんびる 9階ホール

姫路市南駅前町123 tel/079-289-2832



冊子代として、3,000円徴収しますが、冊子不要の場合は無料です。

「医療系介護報酬改定のポイント」(1部 3,000円)は、当日頒布します。

冊子のみのご注文も受け付けています。お問い合わせは、Tel/078-393-1803まで